

宇仁小学校の新校舎が完成

宇仁小学校の新しい校舎が完成しました。平成 25 年 11 月 28 日に行われた定礎式には、市長や議長、先生、児童、保護者が出席しました。児童は、1 月 8 日から新校舎で新たな学校生活をスタートさせました。

新校舎は、窓が多いため明るく、校舎中央の吹き抜けにあるランチルームでは、全児童と一緒に給食を食べることができます。また、災害時にも使える太陽光発電設備を備えています。



ランチルームでの始業式（1月8日）



■構造／鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ床面積 1,921㎡
■総事業費／約 6 億 3 千万円

始業式で志方正典校長は「地域の方々の願いが込められています。感謝の気持ちを持って、あいさつ、勉強、運動を頑張りましょう」とあいさつしました。

児童長の友藤直也くん（6 年）は「古い校舎よりも明るくて、先生の声がよく聞こえる」、副児童長の松岡大暉くん（6 年）は「新しい校舎を大切にしていきたい」と話してくれました。

【問合せ】 教育総務課(施設係) ☎④8772 FAX④1803 kyoiku@city.kasai.lg.jp

子どもが病気の時も安心「病児・病後児保育」

加西市は 4 月から、子どもが病気などで保育所・学校に通えない場合で保護者が自宅で看護できない場合に、お子さんを一時的に預かります。



- 利用時間／月・火・木・金曜 8:30～18:00、土曜 8:30～12:30 ※祝日、年末年始、お盆、医院の臨時休診日を除く。
- 場所／アステアかさい 2 階 さかいこどもクリニック「病児・病後児保育室 ひまわり」
- 対象／生後 6 カ月～小学 6 年生※病気療養中・病気回復期の児童で家庭・集団での生活が困難な児童
- 定員／1 日 5 人 ■利用料／平日 2,000 円、土曜日 1,000 円

病児・病後児保育の保育士を募集

- 内容／保育業務 ■資格／65 歳未満の方で保育士の資格を有する方 ■賃金／時給 1,200 円（交通費あり）
- 勤務日／月・火・木・金・土曜日※時間等は相談に応じます。 ■募集人数／若干名
- 応募方法／市販の履歴書と保育士証の写しを持参または郵送※郵送の場合は封筒の表に履歴書在中と朱書き
- 募集期間／2 月 17 日（月）まで ■雇用主／さかいこどもクリニック

【申込・問合せ】 ☎675-2395（住所表記不要）こども未来課☎④8726

すべての中学校で給食がスタート

1 月 14 日から北条・善防・泉中学校の学校給食を開始しました。生徒らは「温かいご飯を食べることができておいしい。弁当がないので、かばんの中に教科書を入れやすくなった」と話していました。

1 月 16 日からは月に数回、小・中学校などに加西産の食材を使った給食の提供が始まりました。1 月は、はるさめスープの具に「キャベツ」やちゃんこの具に「白菜」が使われました。また、生産者の畑には、緑色ののぼり「かさい元気農場 地元産でおいしい給食」が立っています。



北条中学校 3 年 4 組の給食の様子(1月16日)

古代のふるさとを知ることができる「播磨国風土記イベント」

ふるさと再発見ハイキング 風土記の丘「糠塚山」と「周遍寺」

「糠塚山」と「周遍寺」のある網引町は、1300 年前に編纂された「播磨国風土記」によると、「檜原の里」と呼ばれ古代より栄えていました。「糠塚山」は、風土記に「稗岡」の名で登場し、石仏や古墳など見所がたくさんあります。大森亮尚代表（古代民俗研究所）といっしょに風土記の丘を巡りましょう。約 8km のコースです。



糠塚山と糠塚古墳群

- 日時／2 月 16 日（日）9:00～13:30 ※少雨決行 ■集合場所／北条鉄道「網引駅」
- 見所／糠塚山：大汝命伝説の地、周遍寺：法道仙人開基、不動ノ尾石棺仏：鎌倉中期造
- 講師／大森亮尚代表（古代民俗研究所） ■定員／100 人※先着順 ■参加費／100 円（保険代等）
- 申込／住所・氏名・電話番号・交通手段を電話・FAX・メールで申し込み ■募集期間／2 月 12 日（水）まで
- 【申込先】 観光案内所（北条鉄道「北条町駅内」） ☎ & FAX④ 8823 kasai-8823@utopia.ocn.ne.jp

北播磨の風土記ものがたり「もっと播磨国風土記を楽しむために」

播磨国風土記を学ぶおもしろさと、古代史研究の最前線を研究者が解き明かします。

- 日時／2 月 8 日（土）13:30～16:00 ■場所／健康福祉会館大会議室
- 講師／古市晃准教授（神戸大学大学院人文学研究科）、高橋明裕非常勤講師（立命館大学）、萩原康仁郷土資料係長（加西市立図書館）
- コーディネーター／坂江涉地域連携研究員（神戸大学地域連携推進室）
- 【問合せ】 文化スポーツ課☎④ 8775



公民館合同研修会「風土記編纂 1300 年と加西」

1300 年前の人々が今に伝えてくれた播磨地域の豊かな自然と産物、人々の暮らしに触れて、ふるさと加西の古代に思いをはせてみませんか。

- 日時／2 月 23 日（日）14:00～16:00（開場 13:30） ■場所／健康福祉会館大会議室
- 講師／田辺真人名誉教授（園田学園女子大学）
- 【問合せ】 中央公民館☎④ 2151



ねっぴ〜&フドッキー博士の風土記の里をたずねて

■第 5 回 二カ坂（河内町）

前回は、応神天皇の従者が放った矢が鴨に当たり、鴨が飛び越えた坂が「鴨坂」で、力尽きた場所が「鴨谷」でしたよね。それでここはどこなん？

その鴨を煮たところなんじゃ。播磨国風土記では「煮坂」と記されておる。これが今いるところ、現在の河内町二カ坂なんじゃ。

この坂を越えると隣の西脇市に入るよね。

実は同じ播磨国風土記の託賀（たか）郡条の法太里（ほうたのさと）にも、二カ坂について記述があり、建石命（たけいのみこと）が御冠（みかがぶり）を置き、つまり「道切り」のまじないをすることで、讃伎日子（さぬきひこ）の侵入を防ごうとした場所と書かれておるんじゃ。

託賀郡って今の西脇や多可町のことでしょ。つまり今と同じ、昔もここが郡の境界だったわけね。でも博士、なぜ鴨谷で落ちた鴨をわざわざ、ここで料理するの？



二カ坂

いい質問じゃ、ねっぴ〜。実は郡の境界で鴨を煮るといふ行為もまじないなんじゃ。神聖なる鴨を神に捧げ、境界を神と確認し明確にしたわけなんじゃ。

なーんだ、鴨料理のいい匂いを隣の村に流し、自慢するためかと思ったわあ。

お互いに郡の境界でまじないをするということは、この道が風土記の時代から人々の行き来する道で、郡の境界というものが強く意識されていたといえるの。

問合せ／播磨国風土記推進室☎④ 8756